

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2011年度日本陸上競技連盟競技規則によって実施する。

2. 練習場及び練習について

(1) 練習は、下記のように本競技場を使用してよい。

8月19日 9時00分～17時00分

やり投： 9：00～10：30、12：00～13：30、15：00～16：00

円盤投：10：30～12：00、13：30～15：00、16：00～17：00

8月20日 7時00分～8時30分（開始式中は練習中止）

8月21日 7時00分～8時30分

(2) 投擲の練習は円盤投・やり投のみ使用できますが、事故防止のうえから必ず監督、コーチが立ち会いのもとで練習し、砲丸投・ハンマー投はサブグラウンドに投擲練習場があります。指定場所以外では絶対に投げないでください。

3. 競技者の召集について

(1) 召集所は競技場正面玄関横に設ける。

(2) 各種目の召集開始時刻・完了時刻はすべてその競技開始時刻を基準とし、下記の要領で行う。

種 目	召集開始時刻	召集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
フィールド競技	45分前	30分前
棒 高 跳	75分前	60分前

※棒高跳びは1時間前現地点呼

(3) 召集完了時刻までにナンバーカードの確認を受け、競技者係の誘導により競技場に入ること。

(4) 棒高跳に出場する競技者は、競技開始時刻1時間前までに現地に集合のうえ点呼を受け準備を行うこと。

(5) 他の種目に出場しているなどの特別の事情がある場合に限り、代理人による点呼を認める。この場合必ず競技者主任に申し出る。

(6) 召集時刻に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので注意すること。

(7) 当該種目を棄権する場合は必ず棄権届けを競技者係に提出すること。（召集開始時刻前までに提出すること）

4. ナンバーカードについて

(1) 全ての競技者はユニホームの胸、背に主催者が交付したものを使用し確実に付けること。走高跳・棒高跳に出場する競技者は胸または背のどちらかに付けるだけでよい。

(2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカード（点呼の際、競技者係より配布）を右腰や後方に付けること。ゴール後に自分で外し、係りの者に返却する。

5. レーン順、試技順について

(1) トラック競技予選レーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載の順による。

(2) 準決勝、決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成係で抽選し、その結果を召集所に掲示する。

(3) 短距離競走のフィニッシュ後は、競技者の安全のため自分に割り当てられたレーン（曲走路）に沿って走り終えること。

6. 競技について

(1) 長距離競走において1レースの競技者が多数の場合は、グループスタートで行う。

(2) 中・長距離タイムレース決勝については申込記録により上位・下位に分け組み分けを行う。

(3) 競技中助力を受けてはならない。例えば、監督・コーチなどから指導を受けること。また、競技者は携帯電話・CDレコーダ・トランシーバー等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。

(4) トラックレースにおいて、予選の棄権者により出場者が8名以内の場合は、予選を止め決勝の時間に行う。

7. 競技規定及び方法

2011年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほかは次の通りとする。

(1) 男子少年B110mHのハードルの高さは、0.991m、ハードル間は9.14mとする。

(2) 女子少年A100mHのハードルの高さは、0.840m、ハードル間は8.5mとする。

- (3) 女子少年B 100mHのハードルの高さは、0.762m、ハードル間は8.5mとする。
 (4) 男子少年Bの砲丸投の重さは、6.00kgとする。
 (5) 女子少年Aのハンマー投の重さは、4.00kgとする。
 (6) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

		練習	1	2	3	4	5	
走高跳	少年共通男子	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以後は3cmあがり	
	少年共通女子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以後は3cmあがり
棒高跳	成年男子	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	以後は10cmあがり
	少年共通男子	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	以後は10cmあがり

- ① 第1位決定の上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳5cmとする。
 ② 天候その他の特殊条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

8. 競技場への入退場について

- (1) 競技場の入退場は全て、競技役員の誘導により行う。競技者以外は競技場に立ち入ることはできない。
 (2) 競技終了後における競技者は、第1ゲートより退場し、競技場内は通らない。
 (3) フィールド競技における競技者は、当該審判員、場内指令の指示に従い退場する。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールは、個人所有のものを使用する。ポールについては、その競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け、許可されたものが使用できる。
 (やりも個人所有のものを認める。ただし、用器具庫で検定を受けること)
 (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。

10. 表彰について

各競技8位までの入賞者は賞状を授与する。ただし、表彰は3位までとし、当該競技終了後直ちに表彰する。4～8位の賞状はエントランスホールに賞状置き場を設けるので各自受け取ること。

11. 応急処置について

医務室に医務員を配置し、応急処置までの用意はある。

12. テントの設営場所について

テントを張る場合は次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

- ・大会前日は設置できない。大会当日の開門（7：00）より認める。
- ・大会中は設置したまま置いていくことは認めるが、折りたたんでおくこと。（責任は一切持たない）
- ・メインスタンドへの設置はしないこと。

13. ゴミ処理の協力について

ゴミは全て持ち帰りになります。

14. その他

貴重品の管理は、各自またはチームごとで責任を持って行うこと。